

## 令和2年度特定鳥獣保護管理検討会（第1回）

日時：令和2年10月28日（水）午後2時から

場所：愛知県自治センター 5階 研修室

### （1）市町村実施計画（カモシカ）について

\* 設楽町、東栄町の令和2年度市町村実施計画（カモシカ）（案）は、了承された。

（構成員）カモシカは特別天然記念物であるため、その捕獲は個体数管理のためではなく、農林業被害を与える個体を対象としたものである。その考え方を行政側で共有し、現場にも理解してもらう必要がある。

（構成員）豊田市での被害の内容について伺いたい。

（事務局）豊田市では主に野菜、稲に対する農業被害や交通障害が起きている。死体も多く発見されるようになった。

（県文化財室）天然記念物であるカモシカの死体の発見時には、滅失届を提出することになっている。直近では、滅失届は豊田市内のものが最も多く、カモシカの豊田市での分布拡大を裏付けている。

（構成員）滅失届の件数は、分布の実態をある程度反映していると思う。今後は、分布拡大への対応が重要となる。また、従来の林業被害に代わり、近年は農業被害が占める割合が大きくなっているが、地元からの捕獲要望がない限り、防護柵での被害防止が良い。

（構成員）カモシカの林業被害は若齢林に限られるが、シカは若齢林から壮齢林まで幅広く被害を与える。その習性を理解した上で、被害状況を調査されたい。シカとカモシカの被害を区別するため、被害のある場所にセンサーカメラを設置し、確認すると良い。もし、シカによる被害が中心であることがわかったら、シカ対策に注力されたい。

### （2）カモシカの個体数調査について

（構成員）個体数調査の方法について、専門家にはどの程度相談したのか。

（事務局）専門家への相談結果を踏まえ、センサーカメラ調査を実施する20区域のうち、2区域で区画法調査を併用することとなった。

（構成員）今回のように新しい手法を採用する場合、調査方法とデータの取扱いについて、具体的な部分まで専門家と詰める必要がある。

（構成員）来年度、次期計画について審議する上で、科学的な根拠に基づくデータを出せる見込みはあるのか。

(事務局) 調査手法は、調査会社に相談したうえで決めている。調査結果の取扱については、今後相談させていただきたい。

(座長) 調査方法は、信頼できる手法として提案があったのか。

(事務局) センサーカメラによる調査は、調査会社からの提案に基づき、調査台数等の規模を検討した。

(構成員) カモシカはなわばりを持つ動物なので、なわばりの中に1台カメラを設置したとしても、基本的に同じ家族しか撮影されない。調査のためには、ある程度の範囲に、ある程度の台数を設置する必要がある。

(構成員) 計画策定のスケジュールは決まっているのか。

(事務局) 早い段階で相談できるよう進めていく予定である。

(座長) 平地でのカモシカの問題についても、計画の中に盛り込んだほうが良いと思う。

### (3) カモシカの錯誤捕獲への対応について

(構成員) 錯誤捕獲については、鳥獣保護管理法上は、速やかに放獣すれば問題ないという法解釈である。文化財保護法についても、今後は法律の運用や解釈を整理していく必要がある。また、麻酔については、吹き矢等、銃を使用しない方法が一般的である。

(事務局) 吹き矢による麻酔も想定しているが、地域ごとに人員を確保し、麻酔を行う体制を構築するのは現実的に難しいと思う。

(構成員) 長期的には行政側で麻酔を行う体制を整備する必要があると思う。

(事務局) 短期的には、麻酔せずにカモシカを安全に放獣する方法を検討する必要があると考えているが、構成員の意見を伺いたい。

(構成員) 限りなくリスクを抑える方法はあると思う。複数名で作業する、楯のような防具を使う等して、ある程度リスクは軽減できると思う。

(構成員/座長) 麻酔の際、麻酔薬の量の判断が難しいので、麻酔に知見がある専門家に相談してみると良い。

### (4) その他

(事務局) クマの特定計画の策定や調査の必要性について、構成員の意見を伺いたい。

(構成員) まず現状を把握し、どういう状況になったら、どのように対応するかを想定しておく必要がある。

また、コストは高いがカメラトラップ法、ヘアトラップ法という確立されたクマの調

査手法があり、それなりの規模で調査すれば、意味のある結果が得られるだろう。

(事務局) クマは広域に移動するため、時期によって個体数が大きく変動するが、意味のある調査結果といえるのか。

(構成員) 捕獲個体に発信機をつけ放獣し、行動範囲を把握するところから始めてはどうか。クマが全国的に増加傾向にあることを踏まえ、長期的な戦略を練るべきである。

(座長) 今後、クマが増加するのか減少するのかわからないが、県として何らかの方向性を考えておく必要はある。

(構成員) クマの目撃情報のデータは、何年分蓄積があるのか。

(事務局) 平成16年度からデータがある。

(構成員) 長期的なデータの蓄積は重要であり、整理しておく必要がある。